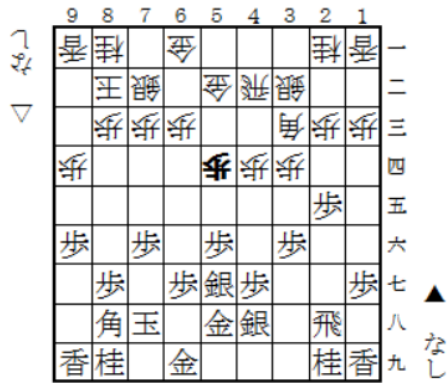


鷺/宮定跡<後手四間飛車>

(第1図は△5四歩まで)



- ▲7六歩
- ▲2六歩
- ▲2五歩
- ▲4八銀
- ▲5六歩
- ▲6八玉
- ▲7八玉
- ▲5八金右
- ▲3六歩
- ▲6八銀
- ▲5七銀左
- ▲9六歩

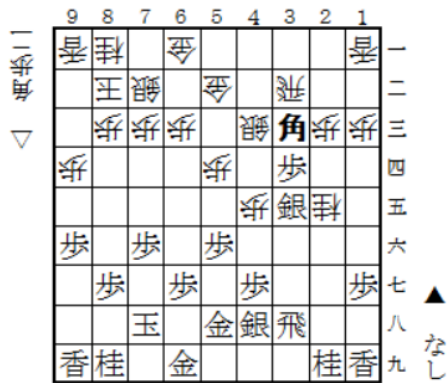
- △3四歩
- △4四歩
- △3三歩
- △4二飛
- △3二銀
- △6二玉
- △7二玉
- △8二銀
- △5二金左
- △9四歩
- △5四歩

(第1図)

- ▲3八飛
- ▲3五歩
- ▲4六銀
- ▲3三角成
- ▲3五銀
- ▲3四歩
- ▲3三角

- △4三銀
- △同歩
- △4五歩
- △同桂
- △2五桂
- △3二飛

(第2図は▲3三角まで)

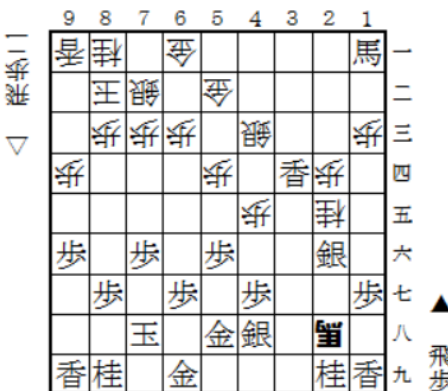


- ▲2八飛
- ▲2六銀
- ▲1一銀成
- ▲3九香
- ▲同香
- ▲3四香

- △2七角
- △3六角成
- △2四歩
- △3四飛
- △3八歩
- △2七馬
- △2八馬

(第3図)

(第3図は△2八馬まで)



- ▲2八飛
- ▲2六銀
- ▲1一銀成
- ▲3九香
- ▲同香
- ▲3四香

- △2八馬
- △3八馬
- △3八馬
- △3八馬
- △3八馬
- △3八馬
- △3八馬

(第3図)

居飛車急戦は主に

- ① 山田定跡**
- ② 鷺/宮定跡**
- ③ 棒銀**
- ④ 46 銀左(斜め棒銀)**
- ⑤ 45 歩早仕掛け**

今回は②の鷺/宮定跡になります。第1図が後手四間飛車で 54 歩の形で他には 12 香、64 歩があります。

四間飛車が 32 銀型でいつでも 45 歩と突けるため、角頭を狙って 38 飛と寄るのが鷺/宮定跡になります。角頭を守るために 43 銀と上がり、35 歩から仕掛けます。

3筋から攻められますが、30 手目 45 歩が反撃の手になります。

第2図は 33 角と絶好の所に打ち、四間飛車も 27 角と打ち返していきます。

63 歩型を活かして 64 角から 19 の香を狙う手もあります。

54 歩型だと鷺/宮定跡に進むと 11 香を角でダイレクトに取られるので 54 歩ではなく 12 香とする人もいます。個人的には 11 香は対居飛車急戦だとまず取られる駒なので、そこを 12 香と上がるよりも玉の方に手を掛けて玉の堅さや角のラインを活かした方が勝ちやすいので 54 歩をオススメします。

居飛車側からみると、相手が 11 香なので、33 角から 11 角成で香を取るために鷺/宮を選ぶこともあります。戦型を選ぶ選択肢は基本的に居飛車側にありますが、四間飛車側は構えの陣形を工夫することである程度居飛車側に戦型を誘導することもできます。

1 番は自分がどの戦型が戦いやすいか、負けやすいかなので徐々に得意の戦型を見つけていければと思います。